



各位

### 実質再生可能エネルギー100%電力による電気自動車向け高出力充電器の実証について ～ 太陽光発電および蓄電池を活用 ～

当社（社長：齊藤 猛）は、この度、Dr. Drive横浜港北インタートラックステーション（横浜市都筑区、以下、「横浜港北インターTS」）にて太陽光発電および蓄電池を活用した実質再生可能エネルギー※（以下、「実質再エネ」）100%電力による電気自動車（以下、「EV」）向け高出力充電器の実証を開始しましたので、お知らせいたします。

当社は、2040年グループ長期ビジョンにおいて、低炭素・循環型社会への貢献を掲げ、次世代型エネルギー供給・地域サービス事業の育成・強化を図っています。全国のサービスステーション（以下、「SS」）において、モビリティおよび生活関連のサービス提供に取り組むとともに、燃料油に加えて電気・ガス・水素などの次世代型エネルギーを幅広く供給いたします。

その一環として、EVが広く普及する社会を見据え、SSを中心としたEV充電ネットワークを拡充するためのEV関連事業を展開いたします。

横浜港北インターTSでは、太陽光発電および蓄電池から供給された電気に加え、不足分については外部から供給された実質再エネ100%電力を使用し、2台同時充電可能な90kW高出力充電器を用いてEV充電を実現します。

#### <実証内容>

1. 太陽光発電および蓄電池の導入効果検証
2. EV充電における再生可能エネルギー100%電力のニーズ調査
3. 高出力充電器の利用状況検証

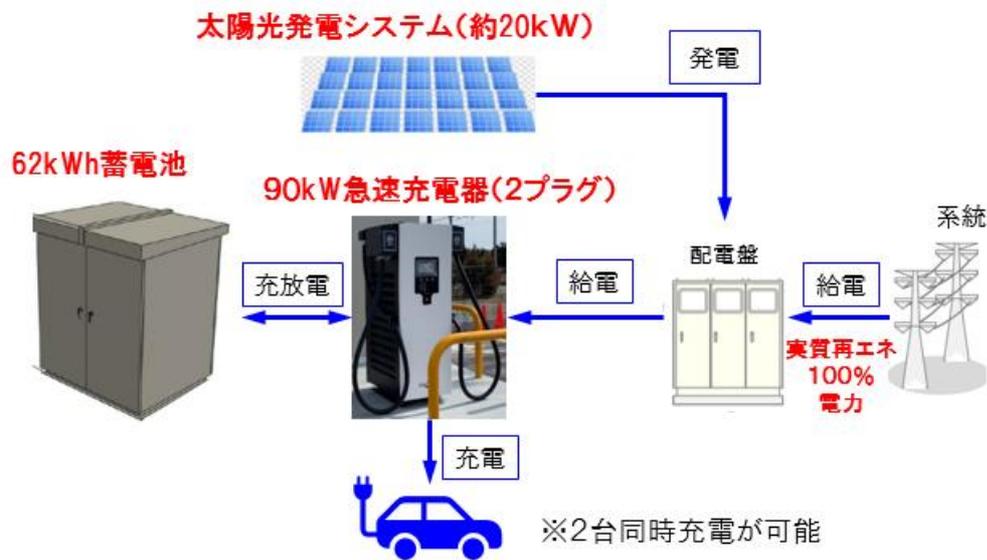
当社は、本実証を踏まえ、最適な設置形態によるEV充電ネットワーク拡充を目指すことを通じ、持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）の目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、目標9「産業と技術革新の基礎をつくろう」および目標13「気候変動に具体的な対策を」の達成に貢献してまいります。

※ 石油火力などの電源に再生可能エネルギー指定の非化石証書を使用していることから、経済産業省「電力の小売営業に関する指針（<https://www.meti.go.jp/press/2021/04/20210401011/20210401011-1.pdf>）」に基づき実質再生可能エネルギーと表記。

<横浜港北インターTS概要>

住所 神奈川県横浜市都筑区川向町1-1  
運営者 株式会社ENEOSウイング  
店舗面積 8,436㎡ (2,550坪)  
営業時間 24時間  
設備概要  
トラック向けフルサービス : 計量機3基 (同時6台給油可能)  
乗用車向けセルフサービス : 計量機5基 (同時10台給油可能)  
EV向けセルフサービス : 充電器1基 (同時2台充電可能)

<実証イメージ>



< 外観 >



以上